

次期生物多様性国家戦略案の概要

参考1

【位置づけ】 新たな世界目標「**昆明・モントリオール生物多様性枠組**」に対応し、**生物多様性・自然資本 (=地球の持続可能性の土台・人間の安全保障の根幹) を守り活用するための戦略**

【構成】

「**2030年ネイチャーポジティブ**」の実現に向けた5つの基本戦略、基本戦略ごとの状態目標・行動目標、各目標の達成状況を測る指標を設定し、個別施策を各行動目標に紐づけることで、**戦略全体を一気通貫**で整理するとともに、進捗状況を効果的に管理

【ポイント】

- ✓ 生物多様性損失と気候危機の「**2つの危機**」への統合的対応、**新型コロナウイルス感染症のパンデミック**という危機を踏まえた**社会の根本的変革**を強調
- ✓ **30by30目標**の達成等の取組により**健全な生態系**を確保し、**生態系による恵み**を維持回復
- ✓ **自然資本を守り活かす社会経済活動**の推進

第1部 戦略

2050年ビジョン『**自然と共生する社会**』

2030年に向けた目標：**ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現**

基本戦略

基本戦略1
生態系の健全性の回復

- ・30by30(国立・国定公園等、OECM)
- ・自然再生
- ・汚染、外来種対策等
- ・希少種保全

基本戦略2
自然を活用した社会課題の解決(NbS)

- ・自然活用地域づくり
- ・気候変動対策
- ・再生可能エネルギー導入における配慮
- ・鳥獣との軋轢緩和

基本戦略3
ネイチャーポジティブ経済の実現

- ・事業活動での負の影響削減・情報開示
- ・技術サービス支援
- ・持続可能な農林水産業の推進

基本戦略4
生活・消費活動における生物多様性の価値の認識と行動

- ・環境教育の推進
- ・ふれあい機会の増加
- ・行動変容
- ・食品ロス半減

基本戦略5
生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進

- ・基礎調査・モニタリング
- ・データ・ツールの提供
- ・計画策定支援
- ・資源動員の強化
- ・国際協力

行動目標

基本戦略ごとにあるべき姿（15の状態目標）、なすべき行動（25の行動目標）、各目標ごとに指標

第2部 行動計画

5つの基本戦略の下に25ある**行動目標**ごとに、関係省庁の**関連する施策**を掲載

関連施策からビジョンまで一気通貫で整理

関連施策